「買いサインをつくるJP分析シート編」 ニューラルネットシステム(株) 富士栄

JP分析には、ご承知のように売買サインを簡単に作成できる機能が備わっています。 今回はこの機能を使って日経平均用の買いサインをつくってみましょう。 途中からは、さらに手動でつくったシートに磨きをかけます。

■既存の買いサインをチェックする

まず、最初からソフトにセットされている買いサインをチェックしてみましょう。 日経平均用は、401番から417番です。

使うメニューは「JP分析メニュー」です。ここから1004・日経平均日足チャートを表示させてみましょう。

続けて、サインのチェックをします。「条件」から「チェック」をクリックします。



下記のような表示となります。最初の番号である401を入力後、OKをクリック。



続けて最後の番号である417を入力後、OKをクリック。



このように買いサインが表示されましたか?

最近では、順張りの買いサインが、2月の後半と3月の前半に表示されています。



しかし、よ~く見てみると、2月の底、つまり逆張り買いサインがこの辺りで残念な ことに表示されませんでした。

そこで今回、次回の下落にそなえて、またこのような相場付きになったらサインが出 るように買いサインをつくってみることにしましょう。

※サインが出なかったら、自分でつくる、これが J P 分析の特長でもあり醍醐味です。 毎回ピタピタと当たるソフトなんて存在しません。

サインが出なかった、使えないと思っている向きは、もっと前向き考えましょう。

相場は、逃げない。次回、次回と・・・。

それが、JP法です。

もしこの程度のことで、納得がいかないようであれは、この先、儲け続けることは困 難だと思います。

本ソフトは、サインが出たら必ず儲かる、というものでもありません。

この辺りの考え方は、吉村茂光の原稿である「図解JP法」シリーズを読んでいただければ分かります。

それでは、話を先へ続けます。

■サインが出てくれたらありがたい日に注目

まず、この辺りで買いサインが出ればいいなぁと思う日付に縦バーを移動させます。

今回は、2/8です。ここで買いサインが出ればいいなぁと思いますよね?



続けて、「条件」から「売買条件作成」をクリックします。



すると、下記のように条件を作成するシート番号を尋ねてきます。 今回は、999番にします。

売買条件作成 2010/02/08分 1004日経平均株価 🛛 🗙
[1004]日経平均株価 10/02/08の売買条件を作成します。 作成した条件を保存するシート番号を入力して下さい。 [1-1000]上書きします。 キャンセル
999

買いサインですから「はい」をクリックします。

売買条件の選択画面	×
買い条件ですか?「いいえ」をク	リックすると「売り条件」となります。
(CCCCC)	<u>いいえ(N)</u>

ゆるめのサインをつくってみましょう。「1」です。

作成条件の基準画面	×
作成条件の基準を以下から選択し、番号を入力して下さい。 [1].ゆるめ [2].ふつう [3].きつめ	<u> </u>
1	

ここまでの手順で999番に新しい買いサインがつくられました。

とっても簡単でしょう。

OKをクリックします。



では確認してみましょう。

もうチャート上にサインを表示させる「チェック」のやり方は、マスターされましたよね?

調べるシート番号はもちろん「999」番です。

■つくった買いサインを表示させてみる

このように買いサインが表示されましたか?

パッと見、なかなかいいところに出ていると思われませんか?



ではどのような内容のシートなのでしょうか?

999番シートを見てみましょう。

■買いサインシートの具体的な内容とは?

「条件」から「JP法分析シート編集」をクリックします。

下記のように表示されますので、999と入力しOKをクリックします。

JP法分析シート編集	×
1 から 1000 までのシート番号を入力してください。	(OK)
	++>セル
999	

これが999番シートの内容そのものです。

🖌 JP法分析シート 日足用 999	đ			
コメント 買い条件:1004日経平:	均株価 2010/02/08			開じる
短期弹性值 以上			出来高水準周期	
- 短期弾性値 以下 - 2	□取八出米高 周期			-1-10p3
中期弾性値 以下 -2		最安値 最高値 周期	MACD①(4-20) 向き	
長期弾性値 以上	中弾 向き 3	最安値/最高值 以上	MACD②(5-20) 向き	
長期弾性値 以下 1		最安值/最高值 以下		271萬日(上
				10000115
短期M指標 以上			一 株価水進 以上	(977
短期M指標 以下	生短弾のき	最安値 周期	株価水準 以下	
中期M指標 以上	生中弾 向き	最安値/高値 以上		
中期M指標 以下			_	
生短弹性值 以上	日本コスト 1月2 日 日本コスト 向き 3			
生中弾性値 以上	短二長コスト 位置		_	CSV
生中弹性值 以下	短コスト上・下抜け	長コスト/前日高値 以下		
生長弾性値 以上	長コスト上・下抜け	生短弾/短弾 位置		
生長弾性値 以下	短長DC後日柄 以上		_	
最安值比率 以上	- 短長GC後日柄 以下	- 終値/安値 - 以下	_	
最安値比率 以下	短長GC後日柄 以下		-	The second second
最安値日柄 以上	短弾/中弾 位置	新値 周期		印刷2
最安值日柄 以下	□中弾/長弾 位置			
一 取局112 向期 日 最高値比率 いし			_	_
最高值比率 以下	高値切りト・下がり	高値更新本数 以下		-
最高值日柄 以上	安値切り上・下がり	足取り・5本設定		-
最高值日柄 以下	RJ指数 以上	ハイ・ローバンド 周期		
出来高倍率 周期	RJ指数 以下	ハイ・ローバンド 向き		
出米高倍学 以上	RJ指数 回ざ	塩甲M间カイリ 以下		

ここまでが簡単にサインを作成出来る機能の解説です。

次は、さらにシートをバージョンアップさせてみましょう。

■手動でシートをバージョンアップ

今のままだと買いサイン表示がやや多いですから、さらにこのシートに手を加えてみ ましょう。

サインの出方をもう少し減らしたいと思います。

「条件」から「読み取り」をクリックします。

下記の画面となります。999と入力してOKをクリックします。

JP分析シート・読み取り	×
1 から 1000 までのJP分析シート番号を入力してください。	OK
	キャンセル
999	

下記の画面表示となります。一番下の項目に数値が表示されていますか?



目がクラクラするかもしれませんが、この数値がサインをつくる上で重要となります。 まさにキモの部分です。

縦バーを過去の日へずらして見て下さい。(左矢印キー)

数値がコロコロと変化する様子が分かりますか?

続けて再度999番をチェックし、買いサインを表示させましょう。このままだとど こが買いサインか分かりませんから。

■再びチェックする

「条件」-「チェック」から最初999番、最後999番です。

直近では、サインを作成した基準日である2/8、続けて2/9に出ていますね。

今回は、サインを減らすということですから、2/9に縦バーを移動させます。

何故、サインを作成した2/8ではなく、2/9かは最後にお話しします。

この考え方が結構重要です。

2/9はこうなります。



この数値群で今回注目するのは生短弾向きです。「4」となっていますね。 これは下降から上昇に転じたことをあらわしています。

それではこの条件をシートに追加してみましょう。こうなります。

🖌 JP法分析シート 日足用 999番	f in the second s			- 🗆 🗵
コメント 買い条件:1004日経平均	肉株価 2010/02/08			閉じる
「「「「「」」」 「」」 「」」 「」]中李宣位家 - 四下「]最高值,最安值 周期 []中平直水淮 周期 [
短期弾性値 以下 -7	最大出来高 周期	最高值/最安值 以上	出来高水準 以上	ED刷
中期弾性値以上	最大出来高か?	最高值/最安值 以下	短中M間カイリ 以上	
中期弾性値 以下 -2	短弾 向き 3	最安值·最高值 周期	MACD①(4-20) 向き	変更
長期弾性値 以上	中弾 向き 3	最安値/最高値 以上	MACD2(5-20) 向き	
長期弾性値 以下 1	長弾 向き 3	最安值/最高值 以下	短M/中M 位置	20世界/ト
MAV指標 以上				*/JAMIL
	短期M 回ぎ			1
超期MI招標 以上 培期MI指標 N下			林価水準 以下	保存
		最安值/高術		2 W
中期M指標 以下	生長弾	最安值/高值 以下	-	一覧表
生短弹性值 以上	短コスト 向き 3	長コスト/前日安値 以上	-	
生短弹性值 以下	長コスト 向き 3	長コスト/前日安値 以下		csv
生中弾性値 以上	短/長コスト 位置	長コスト/前日高値 以上		
生中弾性値 以下	短コスト上・下抜け	長コスト/前日高値 以下		HIN23
生長弾性値 以上	長コスト上・下抜け	生短弹/短弹 位置		AXX-
生長弾性値 以下				
取女他 向期		終旭/高旭 以下		一括
最安值比率 以上		松旭/ 女旭	-	
最安值日村 以上	短度30度日前 以下	新信周期	-	印刷2
最安值日柄 以下	中弾/長弾 位置	安值更新本数 以上		
最高値 周期	短弹/長弾 位置	安値更新本数 以下		
最高値比率 以上	陽線·陰線?	高値更新本数 以上		
最高値比率 以下	高値切り上・下がり	高値更新本数 以下		
最高值日柄 以上	安値切り上下がり	足取り・5本設定		
前后他日初 以下	RJ指数 以上	ハイ・ローハンド 周期		
山東京位家 いし			-	é l
山木向信平 以上				

右列にある「保存」をクリックしてこのシートを保存しましょう。これをしないと、せっかく入力した条件が反映されませんから・・・。

そしてまた「チェック」です。表示されているサインを一度消しますので、画面上列に ある「読込」をクリック後、「チェック」してみてください。



このようになりましたか?サインが少なくなり、すっきりしましたね。

しかし、よくよく見てみると11/24のサイン日から更に一段下がっています。 出来ればこのサインもないほうがいいですね。

縦バーを11/24に合わせてみましょう。※左矢印キーで過去へ移動



■数値を比較して新たに条件を追加する

11/24に表示されている数値と2/9の数値を比較し、違うところを見つけそれ をシートにセットします。

陽線の項目に注目してみましょう。 11/24は「3」、2/9は「1」です。

うまくいくかもしれませんね。それではシートに追加してみます。

陽線・陰線?の項目に「1」です。「保存」を忘れずに・・・。



そして、また「読込」をクリックしてから、「チェック」です。

このようになりましたか?



一番最初につくったシートに比べてずいぶんすっきりと、ポイントに買いサインが出ていますね。成功といえるでしょう。

これで、次回の下げ相場が楽しみになりました。

そして下記が、さらに手を加えた完成品のシートです。

🖌 JP法分析シート 日足用 418番	f			
コメント 日経平均 買いサイン-	18- 基準日2010/02/08[09]			閉じる
短期弹性值 以上			出来高水準周期	
中期弹性值 以上	最大出来高か?		短中M間カイリ 以上	
中期弾性値 以下 -2			MACD①(4-20) 向き MACD②(5-20) 向き	変更
長期弾性値 以下 1	長弾 向き 3		短M/中M 位置	4m#84
MAV指標 以上	MAV 向ぎ 培期M 向ぎ		生中弾/中弾 位置	初期化
短期M指標 以上	中期M 向き		株価水準 以上	保存
短期M指標 以下	生短弾 向き 4	最安値 周期	株価水準 以下	
中期M指標 以下	生長弾のき			一覧表
生短弹性值 以上	短コスト 向き 3	- 長コスト/前日安値 以上		
生中弾性値以上	短/長コスト 位置	長고자/前日意植以上		CSV
生中弾性値 以下	短コスト上・下抜け	●長コスト/前日高値 以下		取込
生長弾性値 以下	短長DC後日柄 以上			
最安値 周期	短長DC後日柄 以下 20 短長CC後日柄 以上			括
最安值比率 以下	短長GC後日柄 以下			CORIA
最安値日柄 以上	短弾/中弾 位置 中弾/長弾 位置	新値 周期 - 安値更新本数 □□□		
最高值 周期	短弹/長弾 位置	安值更新本数以下		
- 最高値比率 以上	陽線・陰線?	──高値更新本数 以上 ───────────────────────────────────		-
最高值日柄 以上	安値切り上下がり	足取り・5本設定		
最高値日枘 以下 出来高倍率 周期	RJ指数 以上 RJ指数 以下	- ハイ・ローハンド 周期		
出来高倍率 以上	RJ指数 向き	短中所間カイリ 以下		É

JP1000ソフトを使ってチェックするとこのようになります。



■まとめ

シートの作成は、いいところ全てに表示させようとしても、もちろんうまくいきません。この日付には表示させるけど、こっちは無理と割り切りましょう。

逆に1つのシートで全て都合がいいところになんて出るわけはありまんから・・・。

■備考

- Q. どうして2/8ではなく2/9に注目したのか?
 - A. 実は、最初この会報を作成するにあたり基準日である2/8を用いて今回の手順 のようにサイン作成をしていったのですが、うまくいきませんでした。

そこで、次の日もサインが出ていることから2/9に注目してみるとこのように 案外うまくいきました。

皆様もお試しください。2/8に注目したサイン作成に。そして、良さそうなシート が出来ましたら、是非ご教授下さい。

- Q. 一番最初に作成したシートでもいいのではないか?
 - A. パッと見はそうです。大体の底を捉えています。

しかし、ここでは表示できていない過去のデータで調べてみると、多くサインが 出てしまっています。もちろんサイン表示後、ズンッと下がっているところもあ ります。

過去データを保存されている方、またはJP1000ソフトをご利用の方は、お 試し下さい。最初のシートでチェックしてみてください。

シートの作り込みのコツは、他のサイン日といかに違うところを見つけ出すかです。 これはひとえに慣れしかありません。

苦労しない限り、納得のいくシートは作成できません。作成し続けていけば、だんだ んとコツが分かってきます。

最初の頃は、うまくいかないでしょう。それは当たり前のことです。

そういう地道な作業をすることによって身につき、利益に繋がることでしょう。

■ J P シートの作成につていは、下記のサイトもご参照下さい。

ソフト利用事例集 第104回 http://www.neuralnet.co.jp/howjp/index.html

図解JP法 第41回、第42回、第48回、第70回、第71回 http://www.neuralnet.co.jp/whatjp/index.html

http://www.neuralnet.co.jp/user/manual/3/page078.htm

マニュアル